

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 平成 30 年 7 月 24 日

東京都作業部会確認年月日 平成 30 年 7 月 25 日

事業名 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会にかかる開会式及び閉会式制作等業務委託

案件名 同上

確認の視点		東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> <li>本件の経費は、平成 29 年 5 月 31 日の大枠の合意の考え方に基つき、組織委員会、東京都、国が、それぞれの役割に応じて相当額を負担する事項である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> <li>本件は、組織委員会が大会運営の一環として行う事業であり、秘匿性や全体最適性を担保すべき観点から一括して執行すべき案件である。</li> <li>本件は、組織委員会が平成 29 年度に策定した「東京 2020 大会基本コンセプト」等を踏まえて実施する事項である。</li> </ul>	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>開閉会式の実施は開催都市契約や大会運営要件で定められており、大会運営に不可欠な事項である。</li> </ul>	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意及びそれに基づき計上された予算の範囲内である。</li> <li>本件は、予算の範囲内で企画力を競うプロポーザル方式を採用し選定したことを確認している。</li> <li>制作会社選考の二次審査において、コスト削減や支出の透明性について評価したとの報告を受けている。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約候補者の見積では、過去大会の事例、特に物価水準等が比較的近いロンドン2012大会と比べても低廉な経費となっている。</li> <li>・組織委員会内にイベント業務に精通した調達管理スタッフを配置し、見積もり内容を確認したと報告を受けている。</li> <li>・事業者が一定以上の調達を行う場合には、組織委員会が事前承認を行うと報告を受けている。</li> <li>・契約期間が満了した後に、履行確認と大枠の合意に基づく清算を行うことを想定している。</li> <li>・上記のほか、組織委員会から提出された仕様書や内訳書により包括的に確認した。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は、平成29年5月31日の合意に基づく公費負担の対象事業である。</li> <li>・開閉会式には、開催都市のPRとなる内容を含むため、一定程度が公費負担の対象として考えられるが、今後、詳細な役割分担を整理する必要がある。</li> <li>・契約候補者の提案では、経費が大枠の合意の範囲に収まっていることが確認できるが、役割分担を踏まえ、効率的かつ効果的な実施となるよう精査を求めている。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。